

## 指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成28年4月1日～ 令和3年3月31日)

### 1 基本情報

施設名称	千葉市生涯学習センター
条例上の設置目的	千葉市生涯学習センター設置管理条例（平成12年千葉市条例66号） 第1条 本市は、市民の生涯学習及び交流の場を提供するとともに、生涯学習活動を総合的に支援し、本市における生涯学習の振興を図るための中核的施設として、千葉市生涯学習センターを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	生涯学習センターは、本市の生涯学習ネットワークの拠点となる中核的施設として、市民の主体的で創造的な学習活動を支援する上で、関係機関との連携を強化するとともに、調査研究機能や学習プログラムの充実、学習情報の提供及び相談体制の整備や充実など、生涯学習を総合的に推進していく事業を展開することが期待されている。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	(1) 資料・情報の提供を総合的に行い、多様なニーズに対応する。 (2) 様々な学習相談に応じ、学習活動の活性化を図る。 (3) 調査・研究に対する多角的な支援を行い、高度で専門的なニーズに対応する。 (4) 生涯学習活動のための調査及び研究・開発を行う。 (5) 自主的・自発的な学習活動を支援する。 (6) 他の機関・施設等と連携・協力して生涯学習を推進する。
制度導入により見込まれる効果	市民の主体的で創造的な学習活動を支援する上で、関係機関との連携を強化するとともに、調査研究機能や学習プログラムの充実、学習情報の提供及び相談体制の整備や充実など、生涯学習を総合的に推進していく効果を見込んでいる。
指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団
構成団体 (共同事業者の場合)	
指定期間	平成28年4月1日～ 令和3年3月31日（5年）
所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

### 2 成果指標等の推移

(1) 市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する（成果指標1）

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	合計
実績値	37,355人	35,314人	40,301人	32,276人	145,246人
延べ受講者数	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	140,000人
達成率	106.7%	100.9%	115.1%	92.2%	103.7%

(2) 学習成果が「生きる」地域づくりを進める（成果指標2）

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	合計
実績値	231件	221件	234件	262件	948件
ボランティアコーディネート件数	260件	260件	260件	260件	1,040件
達成率	88.8%	85.0%	90.0%	100.8%	91.2%

(3) 学びを「支える」環境づくりを進める（成果指標3）

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
実績値	58.2%	62.8%	64.7%	60.3%	61.5%
施設利用率	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%
達成率	105.8%	114.3%	117.7%	109.6%	111.9%

(4) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	合計
施設利用者数	199,033人	163,428人	225,094人	219,770人	807,325人

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

### 3 収支状況の推移

(単位：千円)

			H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	551,332	557,181	555,436	558,479	2,222,428
			計画	551,332	557,181	555,436	558,479	2,222,428
	利用料金	実績	43,120	35,333	45,604	35,739	159,796	
		計画	39,208	33,509	39,462	40,014	152,193	
	その他	実績	2,695	2,251	2,204	1,712	8,862	
		計画	3,856	3,856	3,786	2,425	13,923	
	合計	実績	597,147	594,765	603,244	595,930	2,391,086	
		計画	594,396	594,546	598,684	600,918	2,388,544	
	支出	実績	583,132	597,716	568,146	568,437	2,317,431	
		計画	594,396	594,546	598,684	600,918	2,388,544	
収支	実績	14,015	△ 2,951	35,098	27,493	73,655		
自主事業	収入	実績	3,094	1,208	2,619	1,331	8,252	
		計画	1,744	1,220	1,420	2,426	6,810	
	支出	実績	3,158	2,415	3,109	2,948	11,630	
		計画	3,327	2,788	3,486	3,306	12,907	
	収支	実績	△ 64	△ 1,207	△ 490	△ 1,617	△ 3,378	
総収入	実績	600,241	595,973	605,863	597,261	2,399,338		
総支出	実績	586,290	600,131	571,255	571,385	2,329,061		
総収支	実績	13,951	△ 4,158	34,608	25,876	70,277		
利益の還元額	実績							
利益還元の内容								

#### 4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	B	<p>【延べ受講者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率によりニーズを把握し、満足度アンケートにて講座運営の工夫改善に努めた。</li> </ul> <p>【ボランティアコーディネーター件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア先生紹介ミニ講座などの実施や情報誌ボランティアタイムを発行しボランティアセンターの普及に努めた。</li> </ul> <p>【施設利用率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用環境の改善や料金改定を行い、利用者が利用しやすい施設環境の整備に努めた。</li> </ul>
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者へのサービス向上に努めながらも、本市で設定した基準額を下回った。</li> </ul>
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングについて、業務の一部で第三者評価を実施し、専門的・客観的な評価を受け、事業の改善に活かした。</li> <li>・利用者・受講者アンケート、利用者懇談会の開催などにより、利用者意見の収集を図り、迅速かつ丁寧に対応した。</li> </ul>
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制は、提案書どおりに配置されていた。</li> <li>・有資格者や専門性を有する人材が提案書どおり配置されていた。</li> <li>・各種の研修の実施により、職員の能力向上に努めた。</li> </ul>
(2) 施設の維持管理業務	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期保守点検業務着実にを行い、快適な利用環境を提供するとともに、事故の防止に努めた。</li> </ul>
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休館日は、条例では毎週月曜日と規定されているが、毎月第4月曜日のみを休館として、利便性を高めている。</li> <li>・Facebook等のSNSの更新頻度を高め、施設の周知や事業PRに努め利用促進を図っている。</li> <li>・スマホやタブレットなど端末機器の利用環境に合わせて、ホームページのデザインやレイアウトを変更するなど、幅広い年代層の施設利用の確保に努めている。</li> </ul>
(2) 利用者サービスの充実	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線LANによるパソコンへのインターネット接続環境を整え、利用者の利便性を向上させている。</li> <li>・管理運営の基準では、利用者を対象としたアンケート等の実施を求めているが、それに加え、利用者懇談会や事業の第三者評価を実施し、事業運営への反映を行っている。</li> </ul>
(3) 施設における事業の実施	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的課題学習としては、オリパラに向けた講座・講演会を開催し、機運醸成に努めた。</li> <li>・メディア学習事業では、新規事業としてプログラミング講座を開設した。</li> <li>・ちば生涯学習ボランティアセンター登録者のスキルの上昇及び活動内容を広く周知を図るための「ボランティア先生紹介ミニ講座」を実施した(年10回以上)。</li> <li>・全講座を通じ、応募倍率平均は常に100%を上回った。受講者満足度も95%を上回り、利用者のニーズに伴い内容伴った企画を実施した。</li> </ul>
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な知識が必要な場合を除き、市内業者を優先している。</li> <li>・職員の市内雇用率は60%~70%である。</li> </ul>

総合評価	B
------	---

#### 【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。  
 B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。  
 C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。  
 D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。  
 E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

## 5 総合評価を踏まえた検討

### (1) 指定管理者制度導入効果の検証

○	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

### (上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

<p>市が指定管理者に求める水準等を上回る管理運営が行われていた。</p> <p>①生涯学習事業  延べ受講者数(成果指標：35,000人)は、新型コロナウイルスの影響による令和元年度(32,276人)を除けば、成果指標を超える成果を残した。具体的には、現代的課題学習に関する講座を拡充したり、新たにパソコン講座でプログラミング講座を開講するなど、市民の幅広い学習ニーズに対応した講座を実施した。  また、ボランティアコーディネート件数(成果指標：260件)は、令和元年度(262件)にその目標に達成し、ちば生涯学習ボランティアセンター運営の充実を図った。</p> <p>②施設管理業務  施設利用率(成果指標：55%)は、新型コロナウイルスの影響により令和元年度が56.8%と前年度を下回ったが、期間を通して成果指標を超える結果を残した。これは、施設管理者が、市民の自主的な学習活動を支援するため、利用者に分かりやすい案内表示の更新や利用者の安全性に考慮した階段手摺の改修並びに利用者アンケートなどの反映による施設の利便性を向上させた結果である。</p> <p>③維持管理業務  当該期間中、建築物・建築設備等の保守点検や修繕について、計画的に着実に実施するとともに突発的な修繕にも適切に対応した。</p> <p>④自主事業  民間事業者等と協力し、生涯学習センターの利用促進を図る講座を実施するとともに、市内大学等の公開講座を開催し、市民の生涯学習活動を促進するための学習機会を提供した。  「生涯学習センター夏祭り」には、毎年約5,000人が来場し、施設の認知度、利用率の向上に貢献している。</p>	
---	--

### (2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

<p>特になし</p>	
-------------	--

### (3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会の意見

市による評価はおおむね妥当であると認める。また、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、提出された財務諸表等から判断した結果、財務に関する事項で特記するものはないと認める。

その他、次の事項を本委員会の意見とする。

ア 生涯学習センター内の視聴覚センターの使い方や活動についても積極的に検討していただきたい。

イ 評価に関することで当初の事業計画にない事情が生じた場合には、計画の見直しを行い、適切な評価が行えるようにしていただきたい。